

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院・臨床研修指定病院（管理型）



労働者健康福祉機構 新潟労災病院

〒942-8502 上越市東雲町1-7-12 電話：025(543)3123

着任挨拶

病院長 松原 要一



平成22年4月1日当院に着任しました。新潟大学卒業後9年目に出身校の文部教官（外科）になり15年間、その後新潟県立吉田病院に7年間、そして山形の鶴岡市立荘内病院に11年間、通算33年間公務員として病院勤務し、昨年10月に65歳となって、先月末に定年退職しました。

リタイアないしセミリタイアの年齢（高齢者）となったのですが、わが国は既に少子高齢社会なので、定年後も元気なうちは働き盛りの邪魔にならないように生産年齢人口（15歳から64歳）に寄与したいと思っていました。また、医療制度改革が遅れ、医療費抑制と医師不足により、医療崩壊が地方で特に病院医療で進行しています。医療崩壊から少しでも免れるよう、医療制度が良くなるまで、もうしばらく病院で働かなければ、とも思っていました。

このたび、当院の前病院長（名誉院長・顧問、新潟大学名誉教授）酒井 邦夫先生のご高配により、後任院長として5年間の予定で赴任することになり、鶴岡市から新潟市を通り越して約270km南に下って来ました。

ここ上越地方は、先月まで居た庄内地方（鶴岡地区と酒田地区よりなる）と歴史的・文化的にも、土地柄（対象人口は約30万人）も、医療状況もよく似ています。また、35年ほど前に、まだ若かりし頃、新井のけいなん病院と直江津の上越総合病院にそれぞれ短期間ですが勤めたことがあり、知人も居ますし、懐かしさもあります。働きやすく暮らしやすい所に来て嬉しく思います。

さて、私は医師としては外科医でしたが、10年ほど前から人間ドック認定医や産業医として健康保持や病気の予防を主な仕事としていました。当院は独立行政法人労働者健康福祉機構の病院なので働く場所として恵まれたと思います。もっとも、当院の大きな役割である急性期医療の診療は難しいので、患者さんを診る機会は多くないと思います。そのため、院長として、当院の職員が働きやすい、すなわち自由度（専門性）



の高い仕事ができるそれが評価され、その結果として患者さんのためになる良質な医療が提供できる、そのような病院運営を目指したいと思っています。その鍵は、病院内にあってはチーム医療を、病院外にあっては機能・役割分担による地域医療連携（病病・病診・診診連携）を発展させることだと考えております。今後、この地域の医療関係者と協力して医療情報ネットワークをさらに進化させることが重要だと思われまます。

皆様には、益々のご理解・ご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。



4月からの糖尿病の診療体制について

現在、日本中で糖尿病が増加しておりますが、上越地区でも糖尿病患者様の増加が続き、糖尿病の治療が急務になってきております。

当院では、糖尿病疾患の診療体制を縮小していましたが、4月から再び「糖尿病外来」を開設し糖尿病患者様の診療を再開いたします。また、以前から診療を実施しておりました「内分泌・代謝診療」を火曜、木曜に行い更に充実を図りたいと考えております。

「糖尿病外来」

常勤消化器内科医による糖尿病専任担当医を設け、月曜から金曜日までの毎日外来患者様の診療を行います。

「内分泌・代謝外来」

新潟大学より火曜、木曜日に協力をいただき、内分泌・代謝外来を充実致します。

=== 病院で診察を受けられる患者様にお願いします ===

受診の時は必ず「お薬手帳」を持参してください



お薬手帳には、血圧の薬、血糖を下げる薬や血を固まりにくくする薬などの情報が書かれております。それらは手術や検査をする時に必要になりますので医師に見せてください。治療をするときに患者様のお薬はとても大切な情報です。

病院においてになるときは、**お薬手帳**と**お薬の一覧**をお持ちいただけるようご協力をお願いいたします。

たばこと整形外科疾患

整形外科医師 菊地 廉



たばこの害については常々新聞、テレビなどでがん、脳卒中、肺気腫などの病気の発症率が高くなることは報じられていますし、たばこのパッケージにも表示してありますのでご存じの方も多いと思われます。

しかし、整形外科疾患においてのたばこの影響はあまり報じられていませんし、ご存じない方も多いのではないのでしょうか？

私自身、整形外科医になる前は知りませんでしたし、関心がありませんでした。しかし、整形外科医になっていろいろな手術をしてみると、若く、健康で、非常に骨が硬いだろうと思われる方の中に骨がやわらかい方がおり、これはなぜだろうと思うことがたびたびありました。血液検査では問題ありませんし、特に病気などをしたことがないのになぜ？
そこで気づいた原因はたばこでした。

調べてみると整形外科領域でも喫煙の害はいろいろと報告されています。代表的なものは①骨粗鬆症が進む②骨折をおこしやすくする③背骨（脊椎）が変形しやすくなる④血流を悪くする⑤けがや骨折の治りを悪くする、です。

①具体的に説明させていただくと、骨粗鬆症の指標として骨密度があります。これは脊椎や大腿骨のつけね（大腿骨頸部）の骨の密度を測定し、骨の硬さを数値化するものです。喫煙者の骨密度は非喫煙者に比べて10年ごとに2%以上低下することが分かっています。遺伝子がまったく同じ双子間の調査でも、喫煙量と比例して骨粗鬆症が進むことが報告されています。

②喫煙者では体のバランス能力も悪くなり、転倒し骨折が起きやすくなります。大腿骨頸部骨折が女性で31%、男性で41%、脊椎骨折が女性で12%、男性で32%発生しやすくなるといわれています。

③脊椎には骨と骨との間に椎間板というクッションの役割をしている軟骨がありますが、こちらもたばこを吸うと傷みやすくなることが分かっており、脊椎の変形が進みます。しかも、一度傷んだ椎間板はもとは戻りません。

④血の流れを悪くすることも知られており、特に糖尿病を患っている患者さんで喫煙している方は足の血流が非常に悪くなり、足が腐って切断に至る方も少なくありません。

⑤喫煙している方は仮に糖尿病でもなく、けがや骨折の治癒能力が悪くなりますので、けがをして縫った後に傷がくっつきにくくなる方もいらっしゃいます。

以上、整形外科領域における代表的なたばこの害について書かせていただきました。禁煙については、分かっちゃいるけど、やめられないという方が多いと思われますが、これを読んで一人でも禁煙しようと思う方がいらっしゃれば幸いです。



★第20回市民公開講座が開催されました★



上越・労災病院の市民講座20回

分かりやすさ好評



20回目を迎え、大勢の人が訪れた新潟労災病院の市民公開講座。上越市

身近なテーマ 受講者増 200人規模に

上越市東雲町1の新潟労災病院が毎月企画する「市民公開講座」が好評だ。回を重ねることに受講者が増え、このほど開かれた20回目の講座には市民230人余りが参加。「がんの予防と早期発見」をテーマにした酒井邦夫院長の講演に熱心に耳を傾けた。

講座は、がん診療連携拠点病院として医療に関する最新の情報を伝えようと、2008年8月に始まった。毎月1回、病院の医師らが講師として

登場。がんをはじめ、寄せられたアンケートの要望を基に、身近な病気や症状について広く取り上げてきた。

当初40人ほどだった参加者は徐々に増え、骨粗鬆症や腰痛、耳鳴りなどの回には200人以上が参加。会場の会議室には後方からでも見やすいようにスクリーンを増設して対応した。

今月の講座では、酒井院長が喫煙などの生活習慣が及ぼす影響についてデータを基に解説。自身も大腸がん検診でポリープが見つかったことに触れ、生活習慣改善による1次予防と、検診などで早期発見する2次予防の大切さを語った。

参加した男性(7)は「素人にも分かりやすく説明してくれるので参考になる」と話す。酒井院長は「市民の健康への関心は高く、医療情報の提供は病院の重要な役割の一つ」と指摘。ダイレクタメールを送るなど次回講座の案内にも力を入れ、地道に毎月継続してきたことが参加者増につながったとみる。

地元町内会長の石田秀男さん(67)は「回覧板でもお知らせしており、地域でも毎回楽しみにしている人が多い。診察でお世話になっている先生もいて、より親しみがわきます」と話していた。

次回は「ドライアイ」をテーマに4月10日午前10時半から。参加無料。

新潟労災病院の理念

“働く人の健康を守り、地域の急性期医療に貢献します”



新潟労災病院の基本姿勢

1. 良質で安全な医療を行います。
2. 患者の権利を尊重し、患者中心の医療を行います。
3. 地域の急性期医療を担当する高機能病院として、救急医療を行います。
4. 働く人の健康を守ります。



患者さんの権利

新潟労災病院は、患者さんが次の権利を有することを確認し、これを尊重いたします。

1. 人間としての尊厳をもって医療を受ける権利
2. 当院の提供する良質で安全な医療を受ける権利
3. 自らの健康状況を理解するために必要な情報を、当院から得る権利
4. 当院の提供する医療の内容および予測される結果について説明を受ける権利
5. 他施設の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
6. 当院から必要な説明を受けたうえで、自分の自由な意思に基づいて選択し、あるいは拒否する権利
7. 診療に関する記録の開示を求める権利
8. プライバシーが保たれる権利
9. 医療費の報告および医療費の公的援助に関する情報を受ける権利



私たちの職場 中央材料室

当院中央材料室は、看護師長 1 名、師長補佐 1 名(それぞれ中央手術部兼務)と、看護助手 4 名で構成されています。安全な滅菌材料の提供と、確実な物品管理を行うことを目標に掲げ、日々の業務に取り組んでいます。

高圧蒸気滅菌器 3 台、エチエンオキサイドガス滅菌器 2 台、器械洗浄機 2 台を所有していて、病棟、外来、検査等で使用する診療材料や衛生材料の管理を行っています。

中央材料室の主な業務は

- ・ 院内の使用器材の回収、洗浄、消毒、滅菌、滅菌物の管理
- ・ 消毒済み器材、滅菌物、衛生材料の供給
- ・ 衛生材料の在庫管理 です。

その他に、院内のメッセージ業務も担っていて、看護助手 4 名が協力し合いながら行っています。

平成 20 年 6 月より、各セクションでの鋼製小物等の一次洗浄を廃止し、中央材料室での一括洗浄を開始しました。そのことで、各セクションでの洗浄作業による汚物や感染源の暴露解消と、洗浄方法の統一化、関連消耗品と時間の省略化が図れました。コスト管理と業務改善の視点から、衛生材料等の検討や更新を頻繁に行っていますが、スタッフ全員で最新情報を共有し、前向きに対応しています。

メッセージ業務を含む中央材料室看護助手の全ての業務内容は、全員が同じように行えるよう技術や知識を習得し、日常業務を効率的に行っています。縁の下の力持ち的な、人目に付かない業務でありながら、院内の感染管理、経営の要である重要な業務であることを自覚し、責任とプライドを持って業務にあたっています。



☆☆☆ 医師交代のお知らせ ☆☆☆

転入(4/1)

院長	まつばら	よういち
	松原	要一
第2脳神経外科部長	わたなべ	ひであき
	渡邊	秀明
内科医師	やすやま	ひろのぶ
	安山	浩信
整形外科医師	たまがわ	しょうご
	玉川	省吾
整形外科医師	おおくま	さとる
	大隈	暁
呼吸器外科医師	おか	そういち
	岡	壮一
泌尿器科医師	あんどう	たかし
	安藤	嵩

転出(3/31)

院長	酒井	邦夫
呼吸器外科部長	井上	政昭
整形外科医師	山口	さおり
整形外科医師	塚本	学
脳神経外科医師	佐藤	洋輔
皮膚科医師	笛木	はるな
泌尿器科医師	田所	央

プロフィールについては、次号でお知らせします。

一日ドック検査項目

●基本検査 42,500円(税込)



項目	内容	項目	内容
身体計測	身長 体重 BMI(体格指数) 腹囲	生化学	総蛋白 アルブミン 総ビリルビン クレアチニン 尿酸
生理	血圧(2回) 心電図 心拍数		総コレステロール 中性脂肪 HDLコレステロール LDLコレステロール
	眼底検査(両眼) 眼圧検査 視力検査		GOT GPT γ-GTP ALP
	聴力検査		空腹時血糖値 HbA1c
	呼吸機能検査		血球
尿	尿蛋白 尿糖 尿潜血 PH 比重	白血球数	
	胸部 腹部	胸部X線	
胃内視鏡(経鼻内視鏡)		血清	CRP
腹部超音波	血液型(ABO) 血液型(Rh)		
便	便潜血(2回分)		
診察	内科診察 質問 情報提供		

●オプション検査

項目	内容	金額(税込)
睡眠時無呼吸検査 (要予約)	強いいびき、昼間の眠気、睡眠中に呼吸が止まるなどの不安をお持ちの方にぜひおすすめします。	5,250円
内臓脂肪測定検査	CT検査にてへそのまわりの皮下脂肪と内臓脂肪を直接測定するものです。	3,150円
肺がんCT検査	肺がん、アスベスト(石綿)健康被害の有無等を調べるのに最も有効です。喫煙をやめられない方、肉親にがんの人がいる方はとくにおすすめします。	9,000円
乳がん検査	乳腺の触診とX線撮影のセットです。40歳を過ぎたら2年に1回は検査を受けましょう。	6,000円
前立腺がん検査	血液検査でPSAを測定します。50歳以上で頻尿や排尿困難な方におすすめです。	1,800円
子宮がん検査 (要予約)	診察と子宮の入口である子宮頸部の細胞を採取して検査します。	3,500円
腫瘍マーカー検査	胃がん、大腸がん、膵がん、肝がんなどを調べる血液検査です。	3,050円
骨密度検査	ダイエットの経験のある方、骨が折れやすくなる骨粗鬆症が気になる方におすすめします。	3,600円
肝炎検査	B型肝炎、C型肝炎ウイルスによる感染の有無を調べます。	2,260円
HIV検査	エイズの感染の有無を調べるものです。	1,370円
頸部超音波検査	頸動脈の動脈硬化の有無を調べるもので、めまいやふらつきなどの症状のある方、高血圧、血糖値の異常が続いている方におすすめします。	3,675円
甲状腺機能検査	頸部前面の甲状腺の腫れが疑われる方、手のふるえ、動悸などの症状のある方におすすめします。3種類の甲状腺ホルモンを測定します。	3,675円



散歩道



バンクーバーオリンピックが終了しましたが、テレビ観戦で寝不足になった方も多かったのではないのでしょうか？鍛え抜かれた肉体と精神力から繰り出されるプレーは、私たちに感動を与えてくれました。

オリンピックは参加することに意義があると言いますが、日本選手が獲得したメダルは5個で何となく淋しいような気がします。お隣の中国や韓国は10個以上のメダルを獲得しています。日本の場合、オリンピック強化費は27億円なのに対し、韓国は104億円でメダル獲得者には月8万円の生涯年金も支給されるとのこと。財政難で捻出が困難なのも分かりますが、もう少し選手達が練習に打ち込める環境を整えてやれないものでしょうか？選手達のさらなる活躍が私たちに元気を与え、日本経済の回復にも一役買ってくれると思うのですが。皆さんはどのように考えますか？

(K. N)

